

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語Ⅱ		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
和田 望	教員控室	kango	随時メールで質問等受付		
授業の目的・概要	「英語Ⅰ」での学習を踏まえて、看護の専門分野に焦点を当て、看護の専門分野に関係する語彙や英語表現の基礎知識を身に付け、基本的な英語コミュニケーション能力の向上を図る。課題学習等を通して教科書の内容を理解し、その後の遠隔授業においてフィードバックを行い理解を深める。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィードバック <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	この授業では予習・復習を必ず行い、発音練習やペア/グループワークに積極的に参加し遠隔授業中も積極的な姿勢で学習に取り組むこと。学習において不明・不安な点があれば遠隔授業中に質問を受け付ける。				
教科書	アニメで学ぶ看護英語 Talking with Your Patients in English/著:平野 美津子, Christine D. Kuramoto、落合 亮太/成美堂/2019				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	医療の現場に必要な語彙を身につける	HSU(2)(4)(5)、NS(2)			
②	ネイティブスピーカーの英語を聞き取ることができる	HSU(2)(4)(5)、NS(2)			
③	英語を聞いて、自分の意志を英語で伝えることができる	HSU(2)(4)(5)、NS(2)			
④	学習した医療・看護英語の知識を用いて英文を作成したり読み解くことができる	HSU(2)(4)(5)、NS(2)			
⑤	発話・会話練習を通して相手に伝わる英語を表現できる	HSU(2)(4)(5)、NS(2)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	ガイダンス：学習方法、課題について説明	同時双方向型授業	教科書を読み、ユニットの構成を確認する。	1	
2	患者を迎える際に使える表現を学習する。 Unit 1: Welcoming a Patient	同時双方向型授業		1	
3	バイタルサイン測定に関する表現を学習する。 Unit 2: Taking Vital Signs	同時双方向型授業	【事前課題】 ① 単語・表現を調べ単語帳に記入する。	1	
4	痛みのアセスメントに関する表現を学習する。 Unit 3: Pain Assessment	同時双方向型授業		1	
5	症状に関する表現を学習する。 Unit 4: Feeling So Sick!	同時双方向型授業	② Expressions to Remember、First Watching of the Animation、Scenario、Comprehension Questions、Topic 1、Topic 2、Medical Vocabulary の問題を解く。	1	
6	体位変換に関する表現を学習する。 Unit 5: Transferring a Patient	同時双方向型授業		1	
7	診療科目に関する表現を学習する。 Unit 6: Medical Departments	同時双方向型授業		1	
8	まとめと医学英語の構造について学習する。 Unit 7: Review & Medical Terminology	同時双方向型授業	③ 問題の解答をオンラインフォームから提出する。	1	
9	日常生活援助に関する表現を学習する。 Unit 8: Personal Care	同時双方向型授業	<オンラインフォームに入力する前に、解答は必ず教科書やノートなどに書き込んでおくこと。>	1	
10	与薬に関する表現を学習する。 Unit 9: Giving Medication to Patient	同時双方向型授業		1	
11	排泄に関する表現を学習する。 Unit 10: Elimination	同時双方向型授業		1	
12	慢性疾患に関する表現を学習する。 Unit 11: Chronic Diseases	同時双方向型授業	【復習】 ① 重要表現等をノートにまとめる。	1	
13	急性期/手術室に関する表現を学習する。 Unit 12: Critical Care/Operating Room	同時双方向型授業		1	
14	妊娠検査に関する表現を学習する。 Unit 13: Pregnancy Check-up	同時双方向型授業	② Expressions to Remember と Scenario 部分の音読練習をする。	1	
15	まとめと医学英文読解 Unit 14: Review & Medical Reading	同時双方向型授業		1	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		30	30	10	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	10	10	0	0	10	30
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験を実施する。教科書で学習した語彙、文法項目、会話問題を元に問題を作成する。授業内で説明したことが試験内容の中心となるので、必ずノートを取って復習をすること。				試験の添削・返却。
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤						
レポート	①	✓	教科書で学習した文法知識を使い、英文を作成する。日常会話・医療現場で使える単語を学習し、例文を作る。学期の半ばと最後の2回提出。				授業内でコメントする。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
成果発表	①	✓	教科書で学習した Expressions to Remember 部分のフレーズを発音し発表する。棒読みではなく、リズム、イントネーション、発音に注意を払うこと。				Teams 上でコメントする。
	②						
	③						
	④						
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	オンラインフォームに教科書の問題の解答を入力し提出する。オンライン採点の正解率に応じて評価するため、入力ミスがないよう注意を払うこと。毎週提出。				授業内でコメントする。
	②	✓					
	③						
	④	✓					
	⑤						
備 考							
他担当教員							
教員の実務経験	担当教員は映画、海外ドラマ、ドキュメンタリー、リアリティ番組等の字幕制作を担当する映像翻訳者として3年以上の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	映像翻訳者としてメディア作品に数多く触れる教員が、実生活で頻繁に使われる英語表現を紹介し、「使える」英語の修得を目指した講義を実施する。						
その他	Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨します。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスが変更される可能性があります。言語はコミュニケーションのツールです。使わなければ意味がありません。日本にいても英語を使う機会があまり多くはありませんが、授業を「英語を使う貴重な機会」と捉えましょう。Teams 上で発音のペアワークもしますので積極的な姿勢で参加してください。毎回、授業の最後に授業内容の確認テストも行います。						